迅速に情報交換

神奈川産業人クラブ

概　要

◇１９８３年（昭58）６月９日設立　会員数７０人
◇事務局所在地 ＝ 横浜市中区南仲通４の39の２、箕田関内ビル７階（日刊工業新聞社横浜総局内）
◇電話 ＝ ０４５・２０１・７４２１

生産性競争力の根源

モノづくり現場 最前線で勉強会

神奈川産業人クラブは7月の定時総会で天田満明会長（アマダ相談役）の退任と、三木治一新会長（三木プーリ社長）の選出を決めた。天田前会長は12年にわたってトップとして神奈川産業人クラブをけん引し、新年賀詞交歓会や親睦ゴルフ大会といった恒例行事に加えて、実務に役立つセミナーを数多く開催してきた。三木新会長は前会長の路線を継承しながら、モノづくりの最前線を視察する工場見学会や経営者育成のための勉強会にも力を入れていく。

■黒岩知事が講演

神奈川産業人クラブの一年は1月の鶴岡八幡宮での合同祈祷（きとう）会でスタートする。今年は1月16日に天田会長や原田宏一理事（湘南技術センター社長）、石塚敏夫監事（日本耐熱線工業社長）など8人が参加。前々日に降った雪が境内に残る中、祭主が読み上げる祝詞に耳を傾けた。祈祷を受けた後は八幡宮前の若宮大路を散策。近くの料理店で懇親会を開き、近況や新年にかける期待を語り合った。

神奈川産業人クラブの定例行事として最も参加者を集めるのが1月の賀詞交歓会。会員企業のほかにも、行政や非会員にも参加を呼びかけており、神奈川県の産業界を盛り上げている。今年は1月30日に実施。神奈川県の黒岩祐治知事が県の経済施策などについて約1時間ほど講演した。神奈川県は京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区とさがみロボット産業特区を成長エンジンとし、地方からの改革と経済成長を目指している。黒岩知事は「新東名高速道路やさがみ縦貫道路などの全面開通で、経済のエンジンがくるぐる回り始める」と話し、参加者は熱心に聞き入っていた。

■親睦ゴルフ大会

神奈川産業人クラブの会員同士の潤滑油になっているのが、毎年恒例の親睦ゴルフ大会。毎年11月か12月に神奈川県茅ケ崎市の湘南カントリークラブに腕自慢の会員が集まり、和気あいあいの雰囲気の中にも真剣さは忘れず、腕を競い合っている。２０１２年12月7日に開催した大会では中村幹夫理事（大和ケミカル会長）が優勝。「優勝したかくのが大変だが、おやじさんだったら負けない」など、ゴルフ大会にかける意気込みを思い思いに語っていた。

昨年12月7日に開催した親睦ゴルフ大会で記念撮影

「息子さんにはついていちたいと思っている」

天田会長退任、後任に三木氏

7月16日の第30回定時総会で退任した天田会長（右）。12年にわたり強いリーダーシップを発揮してきた

■学びと交流

こうした恒例行事に加えて、神奈川産業人クラブが力を入れているのが、セミナーや企業経営者や幹部候補社員向けの勉強会だ。7月の総会後には法政大学大学院政策創造研究科の坂本光司教授が「大切にしたい会社でなくては生き残れない！」と題した講演を開催。「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞の創設目的や「過去5年以上、リストラなど人員整理をしていないこと」といった応募資格を紹介した。

坂本教授は製造業だけでなく、サービス業や医療、農業といったさまざまな業種の企業を全国規模で訪問している。その実績から「人をとことん大切にする会社イコール一番大切にしたい会社。経営にとって一番大切なのは社員とその家族だ。人を材料のように扱う経営者は認められず、企業は内側から崩壊する」と指摘した。さらに、「日本の巨大企業や中小企業の大半は応募の対象になっていない」と強調。講演会に参加した企業からは「厳しいご指摘もあり、大変参考になった」との声が聞かれた。

今年は秋にも勉強会と工場見学会を予定している。質の高いビジネスチャンスを獲得する方策などを発信すると同時に、産学の交流や連携の橋渡し役として会員相互の積極的な交流に貢献していく。

■「大切な財産」

今年最大の出来事は長年にわたって神奈川産業人クラブの活動に参加し、強いリーダーシップを発揮してきた天田会長の退任。天田会長は「100社を目指して会員増に取り組もう」とクラブのPR活動に意欲的に取り組んできたほか、セミナーや工場見学会などのイベントを充実してきた。

7月16日に横浜市西区の横浜ベイシュラトンホテル&タワーズで開催した第30回定時総会では後任として、三木治一副会長が会長に選任された。天田前会長は総会後に開いた懇親会で「長年の活動を通じて多くの会員と交流を深めることができ、何よりも大切な財産になった」と振り返った。「産業人クラブは人材育成の担い手。産業振興に寄与するように発展してもらいたい」と今後の活動に期待を寄せた。

■若手人材育成

会員各社は産業人クラブの活動を通して、自社の活性化や新たなビジネスのタネを見つけようとしている。三木新会長は「ノウハウなどを共有できる場をつくりたい」と、積極的に情報交換の機会を設けていく姿勢をみせており、クラブの魅力をさらに高めていく方針だ。若手の人材育成などにも積極的に取り組むことで、クラブ会員の情報交換やビジネスチャンス拡大に大きく貢献していく。

◇ 2013年度の役員体制 ◇

▽会長＝三木治一（三木プーリ社長）▽副会長＝川本守彦（川本工業社長）、河本洋次（東邦電子会長）、岡本満夫（アマダ社長）▽理事＝中村幹夫（大和ケミカル会長）、青木伸一（ニックス社長）、原田宏一（湘南技術センター社長）▽監事＝斎藤武夫（元藤栄電機工業社長）、石塚敏夫（日本耐熱線工業社長）

特集・挑戦する日本の経営者たち

技術・ノウハウ共有できる場に

三木 治一 氏
（三木プーリ社長）

―7月に神奈川産業人クラブの新会長に就任されましたが、抱負をお聞かせください。

「会長就任は青天のへきれきでした。天田満明会長がお元気ではつらつとしておられ、まだまだ続けていかれると確信していたので、全く予期せぬことでした。抱負といっても、とくに考えていませんが、今までの路線を継承していきます。神奈川県は２０１０年の製造品出荷額が17兆２４６７億円で愛知県に次ぎ全国2位を占める産業の集積地です。11年12月には国から神奈川県、横浜市、川崎市が京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区の認定を受け、新たな産業創出に力を入れています。国内でも大切な成長戦略を担う県であることは間違いありません。これらを踏まえ、神奈川産業人クラブ会員の中にも関係する企業が多くいると思います。新たなビジネスチャンスを我々も見いだして積極的に参画していくことが大切だと思っています。そのためにも会員同士が独自の技術など情報交換を迅速に行える場所にしたいと思います」

―今年はどのような活動を進めていく考えですか。

「若手の経営者、後継者を育成する場を提供することは有意義なことです。魅力あるものにしないと神奈川産業人クラブが存在する意味が無いので、後継者の育成や知識を広げる工場見学会などを実施したいと考えています。県内にはこれに値する企業が多数あります。技術も必要ですが、モノづくりの視点で生産現場を見ることも大切です。つまり生産性が重要で、生産性が競争力の根源であると思います」

―産業人クラブは異業種の経営者が相互に刺激を与える場です。

「今の時代は自分の技術だけでどうこうできない部分が多いと思います。各自が持っている独自技術、ノウハウを会員同士でマッチングできたら新しい製品が生まれる。単独ではなかなか難しいし新分野へも参入できないと思います。会員企業が持つ技術、ノウハウを会員同士で共有できる場をつくりたい。ただ総会や懇親会など産業人クラブの行事に参加するだけではこうした機会は生まれないので、会員企業の情報を何らかの形で得られる場をつくり、協業できるようにしたいと考えています」

―今後、産業人クラブが果たすべき役割をどのように考えていますか。

「産業人クラブの会員になって良かったと思う会でないと存在する意味がないと思います。今までやってきたことに、プラスアルファを加えることです。例えば、後継者育成や産産協同、産学協同なども考えられます。県内にはすばらしい大学が多数あるので、こうした事業も可能になるでしょう。まずは会員企業情報から始めようと思います。会員名簿でも会社名、代表者、住所に、職種や得意技術などを加えることからやっていきたいと思います」

会長インタビュー

〔神奈川〕伝動機器の開発・製造・販売
代表取締役社長 三木治一
三木プーリ株式会社
〒211-8577 川崎市中原区今井南町461
TEL.044(733)4311 FAX.044(711)3934
URL：http://www.mikipulley.co.jp/

〔神奈川〕
代表取締役社長 岡本満夫
株式会社アマダ
〒259-1196 神奈川県伊勢原市石田200
TEL.0463(96)1111 FAX.0463(96)3407
URL：http://www.amada.com

〔神奈川〕各種温度センサ及び制御機器の設計・開発・製造
半導体ウエハー計測用プローブカードの設計・開発・製造
代表取締役社長 河本悟
東邦電子株式会社
〒252-0245 相模原市中央区田名塩田1-13-21
TEL.042(777)3311 FAX.042(777)3751
URL：http://www.toho-inc.com

〔神奈川〕自動車の販売・修理・整備等
代表取締役会長兼社長 宮原郁生
横浜トヨペット株式会社
〒231-8530 横浜市中区山下町33番地
TEL.045(224)8800㈹ FAX.045(224)8802
URL：http://www.yokohama-toyopet.co.jp/

アセコート超耐熱電線
【用途】
■工業用ヒーターリード線
■成形機・押出機・機器周辺配線用
■データ用ケーブル
■高周波誘導加熱ケーブル
■耐熱型同軸ケーブル
■半導体装置用ヒーター
■鉄鋼向け計装用ケーブル
■サーミスター用リード線
耐放射線性高温用センサーケーブル
クリーン対策(Max400℃)耐熱絶縁電線
耐熱電線の総合メーカー
日本耐熱線工業株式会社
代表取締役 石塚 敏夫
本社 〒211-0067 川崎市中原区今井上町81-1
TEL.044-738-0215㈹ FAX.044-738-0450
E-mail: info@nittai.com URL: http://www.nittai.com
北九州営業所／台北出張所

◆総合設備工事業
設備の設計・施工から、建物外壁・塗装まで
事業内容：空調設備工事、給排水衛生設備工事、電気設備工事、リニューアル事業
人と地球と夢と技術
川本工業株式会社
http://www.kawamoto-ind.co.jp/
〒231-0026 横浜市中区寿町2丁目5番地の1
Tel 045-662-2021 Fax 045-662-0548

各種ゴム部品設計製造

ISO9001:2008 認証
登録証番号:JQA-QM8668
株式会社 大和ケミカル YAMATO CHEMICALS(THAILAND)CO.,LTD. YAMATO POLYMER CO.,LTD.
かながわ中小企業モデル工場 ㊙表示許可工場
〒243-0801 神奈川県厚木市上依知1405番地の3
TEL046-245-3871(代) FAX046-245-7109
http://www.yama-chemi.com

人とモノ(製品)と技術との架け橋として絆を大切に躍進いたします。
事業内容
トータルエンジニアリング ものづくり／設計／製作／解析／技術者派遣
自然エネルギー メガソーラー／産業用太陽光／蓄電池／節電対策システム／酸素カプセル
ＩＴソリューション ＩＴソリューションコンサルティング／ＩＴ開発／ＩＴ派遣
会社概要
創業 1974年12月 創立 1985年8月
資本金 5,000万円 従業員数 約１４０名
代表者 代表取締役 原田宏一
所在地 本社 横浜市西区平沼1-2-24 横浜NTビル
東京支社 港区赤坂1-9-15 日本自転車会館二号館
大船事業所 鎌倉市山崎536
湘南技術センター株式会社 TEL:045-314-2233 FAX:045-314-2696 URL http://www.shonan-gijyutsuc.co.jp

樹脂への練りこみご相談ください
「OEM」・「共同開発」・「素材提案」・「形状提案」樹脂のことならお気軽にご相談ください
株式会社 ニックス
www.nix.co.jp
〒220-6108 横浜市西区みなとみらい2-3-3 クイーンズタワーB 8F
電話：045-221-2001
Facebook：アリニックス で検索